

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第二回ディズニー・チャンネル放送番組審議会
議事録

開催日時 : 2004年4月16日(金) 18:00~20:00
開催場所 : 東京都港区
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナ
ショナル ジャパン
スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 5
出席審議委員氏名 : 加藤 諦三(議長)
木下 美子
中川 眞也
前田 耕作
柳生 純麿

その他、ディズニ : エディー・カックス
ーからの出席者 (バイス・プレジデント/編成部)
待鳥 雅之
(コンプライアンス・スーパーバイザー/編成部)
佐藤 智恵
(ディズニーパラダイス、ディズニー365プロデュ
ーサー/編成部)

- 議案**
- 1) ディズニー・チャンネル番組編成および改編について
 - 2) ディズニー・チャンネル放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にVHSテープを送付した。)
「リロ&スティッチ ザ・シリーズ」
「学園パトロール・フィルモア」
「ジョジョ・サーカス」
「ディズニーパラダイス」

審議の概要

- 1) ディズニー・チャンネル番組編成について
エディー・カックスより、ディズニー・チャンネルおよびその番組編成及び改編

について説明がなされ、下記のとおり意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- 番組内容全体に関して、開局時の視聴者の期待とのギャップはあるか。
- あまり大きなギャップはないが、実写番組（アートアタック、ディズニーパラダイスなど）などが加わり、ローカライズされたイメージができつつあると思う。一方、ディズニー・チャンネルには「海外」というイメージがあるため、この2つのバランスをどう保つかが今後の課題になる。

- 契約者数は当初の予想通り、順調に伸びているのか。
- 契約者は200万世帯を突破し、予想をかなり上回った。次の大きなチャレンジは、契約者数をさらに伸ばして競合他社に追いつくことである。目標は5年間で500万世帯に到達することである。

- ディズニークラシック短編集の昼間の放送は予定していないのか。
- 5月の改編で、固定枠（23:00と05:30）にて放送中。
現在昼間の固定枠を設けていないのは、新しいアニメーションを扱うハウス・オブ・マウスとあまり近い時間に放送するのを避けたいため。また、懐かしい感じが大人に受けるために夜に放送したほうが大人の視聴者の方に受け入れていただけるという理由もある。映画の後の短い時間帯にクラシック短編集を使うなど、全体にディズニーのアニメーションを分散させることで、ディズニー・チャンネルのディズニーらしさが強調され、視聴者の期待に応えられると思う。

- 日本独自のディズニーパラダイスや、アートアタック等の番組は非常におもしろいので、日本独自の番組やニュース性のある番組を増やす必要があると思う。
- ディズニーの専門チャンネルなので、全てディズニーである必要はあるが、今後は映画、プレイハウス・ディズニー、ローカル番組の3つを柱にしていきたい。

- 親たちはディズニーの番組を通して子供を教育したいと考えている。英語教育の番組などを放送してはどうか。
- 7月19日からプレイハウス・ディズニーで1本約2分の英語教育番組を放送予定である。

- 吹き替えの和訳次第で言い回しが単調になる傾向があるが、視聴者に飽き

- られる原因とならないか。
- 翻訳台本を審査する際に、ディズニーのポリシーに合うよう、過激な言葉や表現を削除する等して変更している。これによって単調な言い回しを増やしてしまう可能性は否定できない。台本の言い回しについては今後より一層注意していきたいと思う。
 - 専門家が訳したものを、子供の専門家が見るとよいと思う。
 - 過激な英語のことばや表現は、文化の違いを考慮して訳しているのか？
 - 日本語で和らげて訳している。言葉の表現のほかにも映像も編集している。
 - 登場キャラクターごとに訳す人を変えると、単調な訳が避けられるのではないか。
 - アメリカではディズニー・チャンネルが独自に作っている映画があるが、日本では作らないのか？
 - 将来的には、契約世帯数やマーケティング戦略と調整しながらオリジナルのシリーズや映画を作っていきたい。
 - 縦の(同一日における)番組のリポートが多いと感じることがある。
 - 横のリポート(同じ番組を別の日に再放送すること)は他チャンネルよりも頻度が低いと思う。縦のリポートは、本来の固定枠の放送時間では視聴できない方のためのリポートでもある。
 - 英語教育番組に関しては、家庭以外にも幼稚園や学校との法人契約をするとういのではないか。契約率の向上にもつながるし、幼稚園や学校側の「売り」にもなる。

2) ディズニー・チャンネル放送番組について

ディズニー・チャンネル放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- 今回の改編のラインナップはよいものが入っていると思う(ジョジョ・サーカス、学園パトロール・フィルモア等)。
- フィルモアでは日米の学校文化の比較ができておもしろい。学園ものの番

組がもっとあってもいいと思う。

- ジョジョ・サーカスはぜひ子供に母親と一緒に見て欲しい。この番組を通して、今の子供達に欠けているものを補ってほしい。（マナーや社会のルールの教育）
- プレイハウス・ディズニーは、親たちから安心して子供たちに見せられるとの良い反響を得ている。しかし、ディズニー・チャンネルとしては、放送番組をベビー・シッター代わりだけに使われてしまうのはもったいないと考えている。
子供だけが見るのではなく、親子揃って視聴、参加することにより教育的要素が生きてくるので、番組を教育に有効に活用するためには、番組視聴時の親子の会話が大切であると考えている。
- ディズニーパラダイスは力をいれて作っている感じがする。年齢層の高いゲストを招いたり、子供と親を一緒に出演させるなど、ゲストに幅を持たせるともっとよいと思う。

以上をもって本会議は、議案の審議全部を終了したので 20:00 閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。